

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	YMCA自由なイルカたち			
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2025年3月10日 ～ 2025年3月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して過ごせる居場所、自分らしくいられる場所	ひとりひとりに合った支援を提供することで意欲を高め、自立した活動に取り組んでいます。	習得した行動を学校や家庭等でもできるように般化を目指した支援を行っています。
2	地域社会の中で積極的に活動できる	地域のお店や公共施設の協力を得て様々な体験活動を行っています。また地域の公園等を活用し、集団活動を行っています。	今後は子どもたちが主体的に活動を考え取り組めるような機会をつくっていきます。
3	同法人内の施設を活動内容によって使用ができる	YMCA児童発達支援の異年齢児との関わりやYMCAの他のプログラム参加者との交流を行っています。	熊本YMCA学院生（専門学校）や留学生との交流を通して関わりが持てるように企画していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数やニーズによって支援スペースが狭い場合がある	その日に利用するお子様の行動範囲や活動内容によって行動に制限が出る場合があります。	お子様に合わせて環境整備を行いお子様が安心できるスペースの確保及び、公園や屋外活動にて気分転換の機会を確保します。
2	保護者を対象とした保護者会や研修の機会の提供		保護者様のご意見も伺いながら、時期、内容について検討し開催の準備をいたします。
3	情報の発信力	情報を発信するツールがうまく発信できていないと思われます。	ホームページやSNSの活用を強化していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		YMCA自由なイルカたち					公表日	2025年 3月 14日	
		利用児童数		16人		回収数		12人	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	5	0	0	活動主体の部屋が少し狭いかなとは思いますが。	活動の場が狭くならないように段ボール等で仕切りを作り遊びに利用できるよう工夫していきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	2	0	2	配置に関する情報は不明です。	国の基準を守り加算要件を満たす人員配置を行っています。児童分野での経験と専門性を備えた人員を配置していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2	0	1		配慮の必要性に応じた対応を心がけていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	1	0		毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気をつけています。 感染症予防のため、発生時期によっては次亜塩素酸水で除菌清掃しています。また換気の徹底に努めます。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1	1	0		個々の発達段階や特性、ニーズを職員が共通に理解し安心して過ごせる環境を整えるよう今後も努めていきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	0	0		支援プログラムは児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の内容」に則し、作成・実施しております。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	1	0	0		日常の遊びや活動の場面の観察、発達検査の報告などを通じて子どもの成長・発達、本人のニーズを把握し、保護者のニーズを含めた支援計画を作成しています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1	0	0		放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」を参考に、今必要な項目について目標を立て支援内容につなげています。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1	0	0		ミーティングでの情報共有を行うと共に、職員が個別支援計画もいつでも確認できるようにしています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1	0	0		集団活動ではルールのあるゲームを中心にソーシャルスキル活動を取り入れたり、次に目指す活動を自分たちで計画したり話し合う機会を持っています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	1	4		YMCAのプログラムなどを機にもっと交流ができる場も検討していきます。	
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		ご質問があれば随時対応しています。支援プログラムについてはホームページ上で公表しています。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		ニーズや思いが実現に向かえるような計画の作成と説明に努めていきます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	2	4		ライフステージに応じた情報提供や講演会が行えるように今後検討していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	1	0		さらに保護者の方と共通理解が図れるよう努めていきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1	0	0		具体的なアドバイスや相談しやすい体制整備や周知に努めていきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1	0	0		お子さんにも保護者様にも安心して過ごしていただけるよう今後も努めていきます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	3	2	参加希望はありません。	きょうだい児支援、交流会の開催等、不十分な点もあるため、今後の検討課題とさせていただきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	0	0		迅速な対応に努め、相談支援体制の周知を図ります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	2	0	0		お子さんの発達状況に応じて一人ひとりに合わせたコミュニケーションツールを利用しています。保護者様へは連絡帳や緊急性に応じてお電話、面談などで対応していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	5	0	1		今後はより知っていただくために良い活用方法を検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	1		個人情報に記載された書類などは鍵付きキャビネットにて保管しています。また職員間でも細心の注意をしております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	3	0	1		対応マニュアルの保護者様への周知が十分ではありませんので今後、保護者様へ分かりやすい方法で実施して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1	1	2		安全計画の中で全ての研修や訓練を計画し実施していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1	0	0		安全計画を適切に活用するために毎年見直しを行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	0	0		迅速な対応に努めて参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	1	0	0		運営と支援に満足していただけるよう職員一同資質向上に努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	3	0	0	とても楽しみにしています。 その日の体調や気分にもよります。	運営と支援に満足していただけるよう職員一同資質向上に努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	1	0	いつもありがとうございます。	運営と支援に満足していただけるよう職員一同資質向上に努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		YMCA自由なイルカたち				公表日	2025年 3月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	活動の場が狭くならないように段ボール等で仕切りを作り遊びに利用できるようにしています。	引き続き安心・安全な環境づくりを心がけていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	指定基準の職員配置数を満たしております。	児童分野での経験と専門性を備えた職員配置を努めて参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	児童がわかりやすい遊具の配置、掲示物を減らす、活動時には玩具を片づけるなど工夫しています。またバリアフリー化、EVの設置、子ども用トイレの設備があります。	配慮の必要性に応じた対応を心がけていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付けています。 感染症予防のため、発生時期によっては次亜塩素酸水で除菌清掃しています。また換気の徹底に努めています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合、必要に応じて個室（相談室他）で対応しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	日々に振り返りを行い計画→実行→評価→改善を行っております。	職員にPDCAサイクルの周知徹底を行います。PDCAサイクルを心掛け、現状把握と課題の共有に努めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	ホームページにて評価、公表を行っております。	貴重なご意見を反映できるように取り組んでいきます。検討・改善につなげていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	職員ミーティングで意見交換を行い、検討・改善につなげています。	意見が出しやすく、意見交換を充実させられるミーティングに努めていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	現在、コンサルティングによる事例報告等の研修の場や評価を行っております。また関係機関等の見学を実施することで外部の視点や意見を聞く機会を設けています。	今後も検討課題としてまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	コンサルを入れ月1の支援内容の研修、事例検討等年間を通して計画的に実施しております。	引き続き職員の資質向上に努めます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	2025年 3月にホームページに公表しております。	保護者の皆様が周知できるように努めます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	適切なアセスメントができるように職員全体でアセスメント研修を予定していきます。お子さんと保護者のニーズや課題を客観的に捉え分析したうえで、個別支援計画を作成していきます。	包括的な支援と具体的なプログラムの作成に努めます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	お子さんに関わる職員が共通理解を図るためミーティングを開催し情報共有を図っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	ミーティングでの情報共有を行うと共に、職員が個別支援計画もいつでも確認できるようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	外部機関で実施された検査結果でも発達状況を把握し個別支援計画の作成に活かしています。適宜保護者面談を行いニーズを把握、再確認したり行動観察を行い個別支援計画を作成しています。	フォーマルアセスメントとインフォーマルアセスメントを活用し適応行動の状況を確認していきます。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえ個別支援計画に反映、設定していきます。	引き続きお子さんの特性や発達状況を踏まえ、5領域に関する具体的な支援内容を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	プログラムの目的や子どもの様子に合わせて職員の役割やサポートの仕方を話し合えるよう努めています。	プログラムの方向性、ねらいや関わり方を確認する場を設定し、多くの職員が参画していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	季節の活動を取り入れたり固定化しないためのプログラム立案に努めています。	お子さん一人ひとりの発達段階に応じたプログラムの立案に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	一人ひとりの発達に応じ、個々の課題と集団適応・社会性の課題を支援計画に入れています。	個々のニーズと集団におけるニーズを踏まえた支援計画の作成と支援に努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	当日の担当、役割の打ち合わせ行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	翌日にミーティングを行い、利用者の様子や支援の振り返りを行い、共有します。特に気になる事項に対してはその日のうちに共有します。	その日の記録の確認、チェックを行い振り返りを実施して参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	支援記録の内容チェックを行い記録者への指導や支援につなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	概ね6カ月に1度、見直しを行っています。相談支援事業所や支援相談員とも情報共有を行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	計画のもと、複数組み合わせ実施しております。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	活動の中で自己選択する等の場面を設けながら支援しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	開催される場合には、児童発達支援管理責任者や担当者など、適任者を選んで出席します。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	関係機関との連携を図っていきます。	関係機関との連携と事業所内での情報共有を円滑に行えるよう努めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	保護者様を通して情報を得ております。学校と直接連絡先を確認し対応しているケースもあります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		今後も必要に応じて保護者のご了解のもと、積極的に関係機関と連携して支援を行って参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		必要に応じて情報提供等をしてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3	発達検査等の情報は取得しております。またこども発達支援センターが地域に向けた研修を実施した際には参加しています。	今後、専門機関と連携し研修などを実施して参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	外での活動で地域の子ども達との交流はあります。また、YMCAで他のプログラムにご参加されたり、キャンプへの参加など一緒に活動する機会がございます。	前進祭などのお祭りなどを機にもっと交流ができる場も検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		支援会議等に積極的に参加したり、報告書に関心を寄せ職員間で共有してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	フィードバックの際に子どもの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けています。	話しやすい相談支援体制を構築するよう努めます。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4		ご質問頂いた際などにも対応方法などのアドバイスの機会を設けております。今後より細やかな情報提供、保護者勉強会を実施して参ります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	利用契約時にご説明を行っております。支援内容については支援計画の説明でお知らせや随時説明を行っております。	利用者負担は単位や加算などがわかりにくいいため周知方法への工夫が必要です。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	お子さんと保護者の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえ計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	支援計画内容を説明する面談を設け、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	半年に1回程度の保護者会や相談したいことがあれば適宜面談日を設定しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	4		きょうだい児支援、交流会の開催等、不十分な点もあるため、今後の検討課題とさせていただきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し契約時に説明しています。	迅速な対応に努め、相談支援体制の周知を図ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	会報は発行しておりませんが、情報をホームページやブログで公開等行い発信をしております。	より良い活用方法を検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報記載された書類などは鍵付きキャビネットにて保管しています。また職員間でも細心の注意をしております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	対面で伝える、ゼスチャーと組み合わせる、文字で伝えるなどの工夫を行い情報が伝わるよう配慮しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	YMCA全体で実施しているチャリティープログラムなどへ地域住民の方を招待しております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	安全計画の中で全ての研修や訓練を計画し実施しています。	対応マニュアルの保護者様への周知が十分でありませんで今後、保護者様へ分かりやすい方法で実施して参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	BCPに沿った研修・訓練を実施しています。職員による避難手順や経路確認、保護者様や自治体との連絡訓練を行っていく予定です。	BCPの職員への周知を図ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	利用開始の際、保護者様に聴き取りをし確認を行っています。	緊急時に適切に対応できるように、定期的に利用者の既往歴や服薬についての情報共有を行うようにしていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		必要に応じてアレルギーへの対応、職員への研修を実施して参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを行っています。	安全計画を適切に活用するために毎年見直しを行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		保護者様へのお知らせが安全計画に基づいて行われていることへの周知が不足しているため、よりわかりやすい周知方法を検討します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	意思表明支援等による権利擁護にも意識し、日頃から支援の振り返りを行うよう心がけています。	
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	4	0	虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を設置し、虐待防止、身体拘束の必要性などを検討する場を設けています。	
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	本人と保護者様に了解を得た上で状況や方法、時間を記録に残しています。	職員間で共有し緩和に向けた取り組みや方法を見つけていきます。